

【感染リスクが高まる「5つの場面」】

① 飲酒を伴う懇親会等

・ 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。

・ 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。

・ 回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。

② 大人数や長時間におよぶ飲食

・ 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まる。

・ 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。

③ マスクなしでの会話

・ マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。

・ マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。

④ 狭い空間での共同生活

・ 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。

・ 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。

⑤ 居場所の切り替わり

・ 仕事での休憩時間に入ったときなど、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。

・ 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。』



【資料出典：内閣府及び厚生労働省】

2月末現在、感染者数が減少しはれておりますが、まだまだ安心は出来ません。ご家族共々もうしばらく手洗い、マスク、消毒等の取り組みに十分な注意を心がけましょう。

令和3年度の総務部会の活動として、秋には松島方面への研修旅行を企画します。コロナが終息し皆様との楽しい

研修旅行や自治会活動などが自由に出来る事を心から願っています。

▼コロナ禍でも笑顔を…

四日町一丁目区自治会 総務部長 阿部 誠

初春ながらも多雪の候、雪かきに汗を流していますか。

新型コロナウイルス感染発生から約1年3ヶ月、コミュニティ活動制限で、多くの行事が中止となり寂しさや虚しさの日々をお過ごしのことと思います。当自治会も同様ですが、この制限下で行っている活動を紹介します。

年度当初の地区総会は、書面総会で味気ない年度始まりでした。会員間の交流がないのは味気ないだけでなく外出の減少は運動量も減少し、会話が減ることは精神面や認知機能にも影響を及ぼします。高齢、独居の会員が多い当地区では大きな問題です。そのため顔の見える活動が必要です。

その中、ソーシャルディスプレイスなながら顔の見える活動が、高齢の方々中心、「親睦会」の早朝ラジオ体操です。一日の始まりに身体を動かし機能維持と、会員間の健康確認を行っていただいています。春になれば再開、みなさん楽しんでいきます。

年4回の自治会資源回収は顔の見える活動として大事なものとなっております。

敬老会は、地区独自で記念品を用意し、防災用リヤカーで対象会員お一人おひとりに訪問して歩きました。みなさんの元気なお姿と感謝の言葉に喜びを感じました。

また、県内感染拡大前の10月初旬、地区体育部主催でグランドゴルフ大会を開催。久々に太陽のもとで健康の大切さを感じあいました。多少のご苦勞会もあり日々のストレス解消となりました。

コロナ禍でも行える行事を模索していくこと、それが地区会員の健康につながることに信じています。ワクチン接種が始まり安心して集まれる日が待ち遠しいです。みなさんの笑顔に早く会いたいですね…。



▼浅沢地区町内会の動き

浅沢町内会 会長 大桐 啓三

私を含めた現役員は3月で2年の任期を終えます。コロナ禍で殆どの行事が中止になるなか、最大